



▲ぬ、ぬけない

田んぼアート米づくり大作戦

豊作祈願 田植え祭り

6月3日には、田んぼアートの田植え祭りが開催されました。晴天の田植え日和の中、老人クラブ連合会や農業青年会議所等の実行委員会構成団体のほか、一般参加者約100名が心地よい汗をかきながら、協力して田植えを行いました。作業終了後は鏡石町ヘルスメイトのみなさんが調理したおにぎり(平成23年鏡石産コシヒカリ)と豚汁をみんなでおいしくいただきました。



▲おばあちゃんも元気に作業してます



▲始まる前に実行委員長からあいさつ



▲慣れた手つきで田植え



▲作業の後のおにぎりや豚汁って最高



▲昔の田植えを思い出しながら



▲若農生も一緒に頑張りました

町制施行50周年記念事業

田んぼでアートだ！ 復興交流事業



【展望予定図】

かがみいし田んぼアート実行委員会(遠藤栄作実行委員長)では、観光と農業が連携した新たな観光スポットづくりのために、今年度から「田んぼアート事業」を始めました。今月号では、まもなく見頃の時期を迎える田んぼアートについてお知らせいたします。

田んぼアートって何？

田んぼアートとは、紫や黄色など様々な色の稲を使って、田んぼに巨大な絵を描き出すもので、青森県田舎館村の田んぼアートをきっかけとして全国的に広まっています。

かがみいし田んぼアート事業は、鏡石町制施行50周年を記念して始めるもので、農業の普及啓発や「降りてみたい、歩いてみたい」鏡石駅を中心としたまちなかの活性化を目指しています。

鏡石町での田んぼアートは、町図書館北側の水田約50アールを使用し、「牧場の朝」のまちのイメージである乳牛、牛舎、鐘や「かがみいし」の文字を鑑賞用の紫稲、白

稲、黄稲やコシヒカリの緑を使用して表現します。

絵柄の測量が重要

田んぼアートでは、絵柄の形をつくるために稲を植える場所を決める測量が重要となります。

絵柄の測量や育苗等、事業の実施に当たっては、福島県立岩瀬農業高校に全面的な協力を頂きました。

5月29日と6月5日の2日間、岩瀬農業高校の環境工学科で測量を専攻している生徒さん達が、田んぼに描く絵柄の測量作業を学校の実習として



かがみいし田んぼアート実行委員会構成団体

- 鏡石町農業振興推進委員会
- 鏡石米づくり部会
- 鏡石町農業青年会議所
- すかがわ岩瀬農業協同組合鏡石支店
- すかがわ岩瀬農業協同組合青年部鏡石支部
- 鏡石町商工会
- 鏡石町老人クラブ連合会
- 福島県立岩瀬農業高等学校
- 県中農林事務所須賀川農業普及所
- 鏡石町観光協会
- 鏡石町、鏡石町教育委員会



▲もう少し左です

で行いました。生徒さん達は、慣れない田んぼでの測量に悪戦苦闘しながら、楽しく作業に取り組みしていました。

田んぼアートは 図書館から眺める

田んぼアートの場所は、町図書館北側の水田です。

田んぼアートの見頃については、7月中旬から8月にかけて色のコントラストが鮮やかで楽しめると思われます。なお、7月10日からは図書館4階の展望室を一般見学用に無料で開放しますので、雄大な田んぼアートを是非ご覧ください。



▲田植え当日の田んぼ



▲6月26日現在の田んぼ

田んぼアート一般観覧

- ◇場所 町図書館4階展望室
- ◇日程 7月10日(火)から開始
- ◇時間 午前9時～午後6時30分(休館日は毎週月曜日)
- ◇見学料 無料
- ※なお、10月には、親子で参加できる稲刈り体験イベントを予定しています。
- ◇問い合わせ先 産業課 ☎62-2118